小樽市総連合町会

コミュニティ

令和８年１月
No.232

発行／小樽市総連合町会　〒047-0008 小樽市築港１１番１号　ウイングベイ小樽１番街４階
TEL：24-1933　FAX：64-5755　E-mail sourengo.jm@bz4.plala.orjp

●新年のご挨拶



皆さま、新年明けましておめでとうございます。
皆様方には、健やかに新春をお迎えになられましたことを心よりお慶び申しあげます。

昨年を振り返りますと、小樽運河をはじめ市内各地に多くの外国人観光客が訪れ、街は大いに賑わいました。観光の回復は地域経済にとって大きな追い風となりましたが、その一方で、混雑や生活環境への影響といったオーバーツーリズムの問題も顕在化し、地域住民の暮らしとの調和をいかに図るかが新たな課題となっております。

また、人口減少に歯止めがかからず、町会役員の高齢化や担い手不足、町会未加入の増加など、地域コミュニティの基盤を揺るがす問題も深刻さを増しております。

こうした状況の中でも、子どもたちを対象としたハロウィンや盆踊り大会、餅つき大会などを実施し、地域に活気をもたらしている町会もあり、その取り組みは大きな希望であります。

防災活動や高齢者の見守り、子どもたちの健全育成といった取り組みを、町会同士が協力し合いながら継続・発展させていくことが、これからの地域づくりに欠かせません。

町会単独では難しい事業も、他町会と合同で実施するなど工夫を凝らすことで、地域住民のための多様な活動を展開することが可能です。総連合町会では、こうした横のつながりを支え、誰もが参加しやすい環境づくりを進めてまいります。

また、デジタル化の進展に対応し、電子回覧板やLINE連絡網の整備を進めることで、世代を超えた参加のしやすさを高め、町会活動の担い手不足を補う仕組みづくりにも取り組んでまいります。

本年も、子どもからお年寄りまで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、加盟町会の皆さまと力を合わせ、持続可能な地域づくりに尽力してまいります。

最後に、会員皆さまのご健康とご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

●令和８年度小樽市補助金等の要望書の提出



昨年11月10日（月）午前10時に、堀口会長と前川副会長の2名が市長室において市長と面談し、市補助金等の要望書を手渡しました。

令和８年度においても、全町会に交付される町会活動支援補助金や防災活動等への補助金の継続を要望するとともに、①地域防災力の底上げについて、②町会支援の新たな仕組みづくりについて、③将来に向けた町会活動などの地域課題を協議する場の設置について提言を行いました。

市長からは、令和８年度予算編成の協議の中で、各項目の要望・提言内容を確認し、検討していきたいとの回答がありました。

☞総連合町会「コミュニティ」の記事は裏面に続きます。

●令和７年度　第２回「町会長と市との定例連絡会議」



昨年11月10日（月）午後2時から市民会館地階1号室において、定例連絡会議が開催されました。この連絡会議は、市長と各町会長が一堂に会して、市に対して提言・要望を行う場であります。

最初に、堀口会長、続いて迫市長から挨拶があり、その後、市からの連絡事項として、①「外国人向け暮らしのガイドについて」、②「北海道が公表した日本海沿岸の地震・津波被害想定の概要等について」、③小樽市におけるヒグマ対応について」、それぞれ説明がありました。

次に、６町会から下記のとおり、９件の提言・要望を行い、各担当部局から回答がありました。最後は、迫市長からの講評をもって終了しました。なお、本会議の概要については、昨年12月に、市から、当日の出欠の有無に関わらず、全町会に送付しております。

【要望・提言】

・大雨災害への小樽市の対応について（真栄町会）
・小樽市街路防犯灯設置費助成金の増額について（歌棄町会）
・旧塩谷中学校の今後の対処計画について（塩谷文庫歌町内会）
・塩谷海岸の漂着物について（塩谷文庫歌町内会）
・小樽市街路防犯灯維持管理費助成金の増額について（蘭島町会）
・小樽市立地適正化計画について（梅ヶ枝町会）
・「クーリングシェルター」の周知の時期や方法について（石山町会）
・町会が解散した場合の街路防犯灯の維持管理について（石山町会）
・害獣の駆除及び情報発信について（石山町会）

●総連合町会と単位町会との意見交換会



標記の意見交換会を、昨年11月20日（木）に、入船地区（７町会）を対象とし、入船六三町内会館で開催しました。本会は、総連合町会の専門部会の一つである総務企画部会が主催するものであり、前川総務企画部長、堀口会長はじめ計５名、入船地区から山内地区連合会長はじめ計８人が出席しました。

令和４年に稲穂地区で、令和５年は朝里地区で、令和6年は手宮地区で開催し、昨年が４回目となります。

意見交換会の中では、町会長など役員の成り手不足とともに、町会業務の引継ぎの際に、書類の整理や引き継ぎが充分でなく、大変苦労したとの意見がありました。また、空き家の増加やごみステーションへの不法投棄、街路防犯灯の維持など多岐に渡る問題、課題について、活発な意見が交わされました。

●令和７年度「小樽市町会関係功績者」

【町会関係功績者名簿】五十音順、敬称略

◆単位町会の役員（会長・副会長・各部長）の職に20年以上在職　　３名とも緑中央町会

安藤　武利　　高橋　賢香　　渡辺　博章

※出席者がいなかったため、顕彰式は開催されず、後日、市から個別に表彰状が届けられました。